

東京都多文化共生推進指針

Tokyo Intercultural Promotion Guideline

世界をリードするグローバル都市へ

2016年2月



東京都

「東京都多文化共生推進指針」の策定にあたって

現在東京には、様々な民族・宗教・文化的背景を持った外国人が暮らしており、2016年1月現在でその数は約45万人となっています。また、2015年に日本を訪れた外国の方は、年間約1,974万人と、過去最高を記録しています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、今後も東京で暮らす、東京を訪れる外国人の方はますます増加していくことが予想されます。

都は昨年12月に、「2020年に向けた東京都の取組—大会後のレガシーを見据えて—」を策定しました。ここでは、大会後に価値あるレガシーを遺し、東京で暮らす全ての人々が幸せを実感できる都市をつくりあげていくため、ハード・ソフト両面からの様々な取組を掲げています。

外国人も含め、東京で暮らす全ての人々が、安心して生活し、かつその能力を最大限に発揮できる環境を整えることは、東京がこれからも持続的な発展を遂げ、世界をリードするグローバル都市であり続けるために必要な条件です。

日本には、外国から様々な文化を受け入れ、そして多様な価値観を持つ人達を尊重し、お互いに助け合って生活してきた歴史があります。

こうした伝統や文化をますます発展させ、外国人と日本人が共に暮らし、共に活躍できる都市をつくることは、グローバル都市・東京のプレゼンスを高めていくことにつながると思っています。

これまで、東京都の多文化共生のための取組は「日本人と外国人が共に生活する」ということを主眼に、外国人に対する生活支援型の施策を中心に展開してきました。

そして今、東京は、外国人の急速な増加やオリンピック・パラリンピックの開催など、新たなステージを迎えています。今後は、これまでの考え方を発展させ、例えば外資系企業で働く人材や留学生をはじめとした全ての外国人が、日本人と共に参加・活躍できる、より積極的な考え方に立った多文化共生社会を構築していくことが求められています。

こうしたことから、新たなステージに対応した、参加・活躍型の「東京都多文化共生推進指針」を策定し、東京ならではの多文化共生を推進し、誰もが幸せを実感できる「世界一のグローバル都市・東京」の実現に向け、都民の皆様と力を合わせ、着実に取組を進めて参ります。

2016年2月

東京都知事



目 次

1 指針策定の趣旨・背景	1
(1) 指針策定の趣旨	1
(2) 指針策定の背景	3
2 多文化共生社会実現に向けた現状と課題	7
(1) 東京で暮らす外国人の状況	7
(2) 多文化共生推進における現状と課題	15
3 世界をリードするグローバル都市実現のための「多文化共生推進指針」 ...	25
(1) 基本目標	25
(2) 施策目標	26
(3) 施策の体系	28
(4) 多文化共生社会を実現するための各主体の役割	35
資料編	39